

エコツアーだより

2013年度は「どんぐりの森 里山再生」(NPO法人 森のライフスタイル研究所)、「ムササビとともに暮らす里山再生」(NPO法人 都留環境フォーラム)、「ビオトープ浮島 水辺の生態系回復」(NPO法人 とよあしはら)の3プロジェクトでエコカード会員向けエコツアーを開催しました。また、「南太平洋諸国生態系保全」(南太平洋生態系保全学術懇談会)の成果発表会も実施しました。

「どんぐりの森 里山再生」

- ・2013年6月1日(土)
- ・長野県東御市
- ・エコカード会員とご家族6人

東京からのバスの中で、信州大学農学部 中村寛志教授から生物多様性についてのお話をうかがいながら活動場所へ向かいました。到着後はこれまでの活動で植樹した場所で、中村教授と信州大学山岳科学研究所 江田慧子助教の解説で生物多様性の観察をしました。チョウやカエル、クモなどの生きものやたくさんの植物を観察することができ、山火から植樹活動を経て、生物多様性が戻りつつあることを確認しました。植樹作業は、サクラとコナラを約1,000本、上小森林組合の皆さまや地域住民の皆さまに指導していただきながら行いました。



「ムササビとともに暮らす里山再生」

- ・2013年10月5日(土)
- ・山梨県都留市
- ・エコカード会員とご家族15人

はじめにプロジェクトの概要や、活動している森の生きものや樹木の様子、夜の森の姿などの説明を受け、森にすむ生きものの生活を想像し、森と生物多様性について考えました。そして森にすむ生きものの食べ物となる実のなる木を植樹しました。植樹作業終了後は「都留環境フォーラム」のメンバーと一緒に森を散策し、活動の最後に、今回植樹した木が今後どのように生態系に取り込まれていくのかを各班で考え、お互いに発表しました。



「ビオトープ浮島 水辺の生態系回復」

- ・2013年11月2日(土)
- ・埼玉県越谷市
- ・エコカード会員とご家族6人

埼玉県越谷レイクタウンで開催された「エコウィーク」のイベントとして開催しました。エコカード会員だけでなく、獨協大学の学生もスタッフとして参加し、次世代育成にもつながりました。開会式では「とよあしはら」の山本裕隆氏より、ビオトープを浮かべることによって水質が改善され、それ自体が魚や鳥のすみ処となること、間伐材でつくることでの山の整備の手助けにもなることを学びました。浮島は、竹を組んだいかにヤシの繊維で編んだ袋に木炭と浮島に茂る緑のもととなる葎などの植物の根を入れたものをのせ、固定してできあがりです。1日で4基の浮島をつくりあげました。



「南太平洋諸国生態系保全」

- ・2014年2月8日(土)
- ・明治大学駿河台キャンパス紫紺館
- ・参加人数 約40人

当日は同地域に関心の深い約40人の参加者が集まりました。ゲストとしてフィジー共和国のマタイトガ・イシケリ駐日全権大使、同コロボウ・ジュリア参事官、日本パプアニューギニア協会の山下勝男会長をお迎えし、フィジーやパプアニューギニアなど南太平洋諸国がかかえる現状の課題や今後の可能性を発表し、情報の共有を図りました。



2014年度エコツアー 参加者募集のお知らせ

詳しい資料・申込書はアンケートからご請求いただけます。
ホームページからも詳しい資料のご確認とお申し込みをいただけます。
<http://www.cosmooil.co.jp/eco-tour/>



※下記エコツアーは予定のため、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。申込書による締め切り日は消印有効です。

「人と森をつなぐ」エコツアー

一般財団法人 C.W. ニコル・アフンの森財団

開催日 2014年9月7日(日) 日帰り

タイムスケジュール

- 9:00 長野駅集合・出発(バス)→アフンの森(黒姫)へ
- 10:00 アファンセンター到着
 - ニコル理事長のミニ講演
 - アフンの森散策
- 12:00 森で昼食
- 13:00 午後の活動
 - 五感で感じるアフンの森
 - アフンの森の作り方とは
- 17:00 アフンの森発、帰路へ
- 18:00 長野駅着・解散

申込・お問い合わせ

ホームページまたは下記連絡先まで
近畿日本ツーリスト(株)
トラベルサービスセンター東日本
コスモ石油エコカード基金係
0570-064-205
(受付時間:平日10時~17時)

申込締め切り 8月18日(月)

プロジェクト担当者より

森の中で過ごす・・・森の音を聞き、森の恵みを味わう。生命力あふれる森のチカラを少しだけ分けてもらって、心も体もリフレッシュしませんか。

「アカマツの森 里山再生」エコツアー

NPO法人 森のライフスタイル研究所

開催日 2014年10月4日(土)~5日(日)1泊2日

タイムスケジュール

- 10月4日(土)
 - 8:00 東京・名古屋集合・出発(バス)→長野県伊那市へ
 - 13:00 宿で昼食後、バスで森へ
 - 15:00 アカマツの森で活動
 - 作業手順等の確認
 - 森林学習
 - アカマツ林内の落ち葉掻きや除伐など
 - 19:00 夕食後、夜の森林学習
宿:信州公共の宿 入野谷(予定)
- 10月5日(日)
 - 9:00 菌根菌調査(きのこ類の収穫も)
 - 11:00 昼食
(収穫したものが食べられるかも)
 - 13:00 「分杭(ぶんぐい)峠」見学
 - 宿に戻って入浴も可能
 - 18:00 東京着、解散

申込締め切り

9月8日(月)
※名古屋発着も若干名募集する予定です。

プロジェクト担当者より

アカマツ林に人の手を加え続け、元の元気ある里山に戻しています。今回のエコツアーでは、これまでの手入れ不足が原因で溜まってしまった柴を専用の熊手などを使いながら除去しつつ、春から整備してきたエリアでの菌根菌調査(きのこ類の採集含む)を体験します。

「ムササビとともに暮らす里山再生」エコツアー

NPO法人 都留環境フォーラム

開催日 2014年11月15日(土) 日帰り

タイムスケジュール

- 9:00 東京発(バス)→山梨県都留市コスモの森へ
- 12:00 森の中で昼食
- 13:00 活動開始
 - 前回までに植樹した樹木の観察や生きものの痕跡探し
 - チームごとに実のなる木を植樹
 - 森全体の観察とふりかえり
- 16:00 コスモの森発、帰路へ
- 19:00 東京着、解散

申込締め切り 10月14日(火)

プロジェクト担当者より

これまでムササビの生息域の回復をめざし、針葉樹の森を整備して実のなる木を植樹してきました。これらの木々は植樹した後、森にすむ生きものに食料として使われているのでしょうか?この活動では、植樹した木の様子を観察し、そこを訪れる生きものを探します。また、自分自身でも植樹することで、森づくりに関わりを持つことができます。